

今回は八王子市の小学校で低学年の授業を長年担当され、担任の先生の協力を得ながら子どもたちの不思議なパワーに魅了されつつ、日々の授業を工夫されている倉富さんの実践報告です。



倉富久美子さん

## J-SHINE 通信

2016年3月号

現在 八王子市内の小学校1校で低学年の英語の授業を担当、11年目。J-SHINE小学校英語上級指導者。公益財団法人ひの社会教育センターにて大人初級者向けの英会話クラスの講師としても活動中。

### ■ J-SHINE資格、上級指導者資格取得のきっかけ

娘たちが通う小学校で英語指導のボランティアをされていた地域の米国人牧師さんのピンチヒッターを学校から頼まれて、当時民間のこども英会話教室の講師をしていた私が授業にはいることになり、その直後 J-SHINE 資格のことを雑誌で知り、取得しました。専門の資格をもっていた方が学校にとって何かと都合が良いのではないかと思ったからです。保護者や市教委等から「英語の指導者はどんな人？」の問い合わせが来ても「安心してください、資格をもった方ですよ」と答えられるのですから。それに、研修等の色々な情報もいただけて、助かっています。後に学校でのキャリアを認められ、校長先生もこの資格に興味をもたれ、快くご協力いただき、上級指導者資格取得がスムーズにできました。

### ■ 現在の活動状況

3月7日に2015年度の授業が全て終わりました。私は毎年1年生3クラス、2年生3クラスの各クラス年間10コマの授業を行っています。3、4年生は近隣の大学生のインターンシップ的な英語活動、5、6年生はネイティブのALTによる英語授業となっており、全学年が英語の授業を受けているというのがこの小学校の一つの特徴です。

地域の中学校で「英語を嫌いにさせないようお願いします」と言われた事があり、ひたすら「楽しく」をモットーに授業内容を考えます。結果、大半は歌ったり踊ったり、飽きの来ないテンポの良い授業展開です。

また、この学校の外国語活動におけるもう一つの特徴が、入学式での「英語活動の紹介」です。1年生授業の後半から「英会話たいそう」\*1を導入し、歌とダンスをマスターしてもらい、

新2年生となり入学式で「歓迎パフォーマンス」の一つとして新入生に披露する、というのが定着し、5年以上毎年行われています。それ以前は絵本の「BROWN BEAR、BROWN BEAR、WHAT DO YOU SEE？」を読み聞かせ風にやっていたのですが、歌って踊った方が断然インパクトがあり、演じる子どもたちも全く飽きずに喜んで繰り返すので、いつの間にかこの学校の“伝統”となってしまいました。その出来の良さに来賓の方々がとても驚かれますが、当の新入生も興味津々で観てくれます。仕上げのすばらしさは学年の先生方のご指導の賜物です。

そしてこの英語の歌詞（会話表現）は6年生になってもすっかり覚えています。沢山詰め込んで忘れてしまうより、少しのものを楽しく覚え、好きになって興味をもち、将来自分からどんどん英語学習に取り組めるようになってくれればいいなと願い、私は学校へと足を運びます。

私にとって小学校で英語の授業をするのは「楽しい」の一言に尽きます。元々それほど子どもが好きでなかった私がこう感じるくらいですから、子どもの魅力はすごいものです。民間のこども英会話教室の講師は英語をわざわざ習いに来る子ども相手に決まった教材でレッスンするわけですからやり易いはずの現場でしたが、私には少人数レッスンには限界を感じてしまいました。一方、30人～40人の子どもたちと担任の先生の存在はとても夢が広がりました。



とは言え、複雑な家庭事情や多少の障害をもつ児童に対しては、初めはどう接したらよいかわからず、予定通り授業が進まなかったり、号泣されたり、噛みつかれたりという苦勞もあります。でも相手は子どもたち。とにかく可愛いので、一生懸命活動に巻き込もうと声掛けをしながら向き合い続けると気が付けば少しずつ歩み寄ってくれています。そんな子どもたちが英語という一番非日常的な世界に敏感に反応し、ついには好きになってくれるという場面を幾度となく経験してきました。担任の先生は授業がスムーズに行くよう素晴らしいアシストをしてくださいます。授業の内容は任されて私が進めていますが、速やかに並ばせられたり、班を作ってくれたり、教室管理が行き届き、低学年の指導という意味での TT\*2 という形になっていると思います。最後の一コマは、いつもアルファベットのビンゴゲームをやり、景品は私が折った折り紙 Frog と Horse です。そして全授業が終わると、子どもたちから手紙をもらいます。先生が綺麗に製本して、代表の児童が感謝の言葉とともに渡してくれるのです。みんなの手紙を読むとき、「ああ、やっていてよかったな」と感じ、また頑張ろうと気持ちが引き締まります。夏休みにはサマースクールという学校の取り組みの中に英語も入り、私の授業を卒業した中高学年が多数応募して参加してくれます。



#### ■ 今後の展望、課題、目標

私が地元の小学校で英語の授業を始めた時 1 年生だった児童たちはもう高校 2 年生になります。私は小中学校で PTA 会長をやっていた関係で地域運営学校の運営協議員として学校に関わっているので、中学での学習支援活動に関わる機会もあります。小学校で英語を教えた子どもたちにその先の中学ではいまだ聞けない質問や悩みを聞いてあげる存在になりたいと思っています。小中連携のニーズが高まる昨今、その一助となればとも思います。

「上級指導者」とは、英語授業のスキルアップだけでなく、いかにクラスのカラーに柔軟に対応できるかが問われること、そしてその先も頼ってもらえる存在となれることではないでしょうか。いろんな意味での上級を目指し、今後も頑張っていきたいと思っています。

\*1 英会話たいそう：

(株) mpi 松香フォニックス出版の英会話教材

\*2 TT：

Team Teaching

\* J-SHINE 通信 Web ページ

この 2016 年 3 月号をはじめ、過去に発行した J-SHINE 通信はすべて J-SHINE の Web サイトから配信しています。

こちらからご覧ください。

<http://www.j-shine.org/tsuushin.php>